

令和4年度 学校評価報告書

学校番号(小57) 長崎市立(鳴見台小)学校

1 教育目標

「自ら学び、心豊かで、健やかな子ども」の育成

2 学校経営方針

すべての児童を、すべての職員で指導することで、一人ひとりが大切にされ、安心して学習や生活ができる環境を確保するとともに、学級経営を安定させ支持的学校風土を醸成していく。

3 重点目標

- ①学習指導の充実
・学力の基礎を伸ばす指導
・家庭学習の定着
・「自分の考えを持ち、進んで学び合う授業」を目指した授業改善
②心の教育の充実
・体験学習や地域との交流(はばたき農園活動の推進)
・いじめの未然防止と早期発見、早期対応
③健康教育の充実
・体力、運動能力の向上
・感染症予防の徹底
・基本的生活習慣の定着

4 自己評価

※ は昨年度よりも上がっている項目

Table with columns: 領域, 項目, 質問内容, アンケート結果 (児童生徒, 保護者, 教職員), 分析及び改善策. Rows include 学校教育, 心の教育, 確かな学力, 健やかな体, 信頼される学校, 教育環境.

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

<成果と課題>
・保護者の評価は、今年度も昨年度と比べるとポイントが下がっている項目が多かった。コロナ禍が続き、授業参観や学校行事の中止や縮減などで、なかなか学校の様子を見てもらう機会が少なかったということである。
・今年度も効果が出ているので、引き続き取り組んでいく。児童と教職員の評価については、今年度も前年度より9割を切る項目がいくつもあつた。今年度は、コロナ禍で削減されていた行事が久しぶりに復活したり、研究委託の本発表の年で研究授業が多くあつたり、はばたき農園活動の感謝祭が実施されたりして、大変多忙であつたため、余裕がなかったということもあり、学校評価が全体的に下がっているようである。目指す児童像・そのための手立てなどを全職員で共通理解・共通実践していきたい。
・次年度は、児童数が増え普通学級や特別支援学級も増えることから、対応できるように、職員間で十分に共通理解を図りながら、学校運営を進めていきたい。また、支援員の力を借りながらICT活用もさらに進めていきたい。

6 学校関係者評価

・保護者の評価と学校の先生方の評価とは、ギャップがある。検討する必要があるのではないか、打つ手が必要である。
・学校側は、一生懸命しているが、見ている視点が違う。ずれがある。同じ方向を向いていない。幅広い議論をしていく必要がある。親・地域・学校がもっと近くなり、コミュニケーションを活用して、わだかまりなく議論していく場が欲しい。徐々必要を広げていくしかない。
・育友会と自治会が協力し合って、パトロールのコースも変えていく必要がある。豊洋台地区を取り回すのが大事である。
・地域コミュニティもできるもので、可能性は0ではない。豊洋台地区のために何かしようとする保護者は、0ではない。地域コミュニティのみらいトークは、そういう意味でも大切である。
・豊洋台地区と光風台地区では、抱えている問題もぜんぜん違う。地区ごとの小さな話し合いも必要ではないか。課題は違いますが、みんなで分かちあつていくことが必要。
・コロナ禍だったが、取らなかつたもので、これからは、子供の会話や放課後子供教室の会話などをして、子どもたちが地域でも活動できないか。
・スマホや防犯ブザーなども携帯はどうか。一歩携帯している。
・幼稚園等とも連携してほしい。未就学児の子どもともつながりがもてたらいい。
・保護者と学校側の話し合いの場である理事評議員会には、多くの先生方が参加していただくことで保護者とのつながりができる。ネットワークでつながり、コミュニケーションのやり方を変えるという方法もある。
・児童増で豊洋台のバスを増便してもらうには、自治会にもお願いして育友会と話をし議論に行くしかない。自治会を動かしていくことも大事である。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・保護者と学校側の評価の差がある項目については、来年度の課題として見直ししていく。
・来年度から地域コミュニティができるので、学校・保護者・地域が一体となって、学校や地域の課題に取り組んでいくようにしたい。
・来年度は、児童数も増えバスに乗れなくなる児童が出てくる可能性がある。保護者や自治会とも相談しながら、増便のお願いを検討していきたい。また、バスの中や乗り方のマナーについても学校の指導だけでなく、家庭でも指導してもらうように働きかけていく。
・幼稚園や保育園ともしっかりと連携を図り、1年生についての情報交換を行って、新年度に臨みたい。
・来年度は、はばたき農園活動の30周年という節目の年である。学校、育友会、地域が協力し合って、はばたき感謝祭を行っていただきたい。